

「研究テーマ」

# 「自分の考えを主体的に表現し、学び合う子の育成」

豊岡市立福住小学校 教諭 松岡 勝美

## I はじめに

本校は「すすんで学び、こころ豊かでたくましい子どもの育成」の学校教育目標のもと、自分のよさを知り、自分の考えを持ち、主体的に学ぶ子どもの育成を目指してきた。言語活動の充実をキーワードに、本年度も、全校でことばの力を育てるために新聞を取り入れた活動を進めてきた。

### 推進目標

- (1) 新聞に慣れ親しむ。
- (2) 社会とのつながりを広げる。
- (3) 友だち・家族と感想を共有し、学び合う楽しさを知る。
- (4) 情報を整理し読み取る力をつけ、語彙力や表現力を伸ばす。

### 学年の目標

低学年	新聞の情報に興味を持ち、手に取ってみようとする。
中学年	写真や記事に興味を持って、感想や自分なりの考えを表現しようとする。
高学年	必要な情報を読み取り、自分なりの考えを持ち、適切に表現しようとする。

## II 実践にあたって

### 1 新聞閲覧コーナー

毎朝配達される新聞は、委員会の児童が多目的のルームに運ぶ。その日の新聞をロッカーの上に並べる。下のロッカーの中には今週の新聞。

2番目のロッカーには今月の新聞。3段目のロ

ッカーにはその他と分けて入れている。そばのロッカーには国語・漢字辞典を入れて、分からないことばの意味や漢字の読み方などが調べられるようにした。



### 2 新聞タイム

毎週水曜日（8：25～8：35）の10分間の学習タイムを利用して全校生で新聞を読む新聞タイムを本年度も設定した。

低学年は、気に入った写真を見つけ、選んだ理由や感じたことを書いた。高学年では、複数の記事の中からお気に入りの記事を選んで、5W1Hを使って記事の内容を要約し、感想を書いた。

この取組も2年目なので、楽しみながら気に入った記事や写真を選んだり、自主的にスクラップをしたりするようになった。また、自分の考えや感想を短時間で書くことができたようになった。新聞タイムで取り組んできたことは、廊下に掲示し、他学年にも紹介している。さらに今年は、月に1回（水曜日）6年生が1年生から5年生の教室を回り、自分達が選んだ新聞記事の紹介をして思ったことなどを伝えている。下級生は紹介してもらった記事について質問をしたり、感想などを言ったりして6年生と交流している。



お気に入りの記事を探す2年生。



新聞記事を下級生に紹介する6年生。

### 3 新聞コンクール

新聞を作ることに取り組んだ。月ごとに担当学年を決め、学習したことを新聞にまとめ、掲示した。11月には、全校新聞コンクールを行った。「家族新聞」「ふるさと新聞」「環境新聞」「仕事新聞」「米作り新聞」「6年間の思い出新聞」などのテーマで新聞を作った。パソコンで調べたり家の人や地域の人にインタビューしたり、一生懸命取り組んでいた。日常的に新聞に触れているので、割付を工夫したり図を入れたり、見出しや表現も個性あふれるものになった。

2年生



4年生



この他にも、昨年度に引き続き全校集会での職員による新聞紹介や、自分の思いを100字にまとめる力をつけるために「ぼく、わたしの夢」にも取り組んだ。

### 4 各学年の取組

#### 第1学年

#### 教科と関連した取組

##### <国語科>

- ・ひらがなの学習がはじまったので、文字見つけをおこなった。赤鉛筆で文字を見つけ○をしていく。○がいっぱいになった時には、自分の力で記事が読めるようになるということ

を話し、新聞を読む意欲づけにした。たとえば、

「あいうえお」をさがそう。

「くつつきの『を』」をさがそう。

「濁音、撥音」をさがそう。

「かたかな」をさがそう。 など

##### <生活科の学習>

- ・好きな写真を切り抜き、なぜその写真を選んだのかみんなの前で話した。写真は書画カメラで映し出したので、それぞれが選んだ写真に共感しながら見ていた。
- ・11月に「家族新聞」を作った。新聞の名前や見出しも自分達で考えさせた。1月には、「できるようになったこと新聞」を作った。家の人に向けて、1年間を通してできるようになったことを新聞に書いた。

#### 第2学年

#### 教科と関連した取組

##### <国語科>

- ・カタカナの発展学習として、新聞記事の中から知っているカタカナの言葉を集め、グループで集めたカタカナの言葉のグループ分けをした。

##### <生活科の学習>

- ・1学期からの生活科で学習してきたことをクラス全員で「ふるさと新聞」としてまとめた。役割分担し、見出しもそれぞれのグループで話し合っつけた。模造紙4枚の新聞になったが、全員で協力して一つの新聞を作り上げたという達成感を味わうと共に、学習してきたことの良い振り返りにもなった。

#### その他の取組

- ・「夏休み」「冬休み」の長期休業を個人の新聞にまとめた。「夏休み新聞」には、思い出トップ3とかがんばったことや特に思い出深かつ

たことを記事にする欄を作ったり、漫画コーナーを設けたりする等、楽しく取り組めるものにした。イラストで絵日記風に表したり、写真を貼ったり、工夫を凝らしたものが出来上がった。また、「冬休み新聞」では、正月に関係ある言葉を集める欄や楽しかった出来事を載せる欄等を設けた。

### 第3学年

#### 教科と関連した取組

##### <理科>

「身近なしぜんのかんさつ」

- ・福住小学校の校庭にどんな生き物や植物がいるのかを調べ、クラス全員で「自然新聞」を作った。

##### <社会科>

「はたらく人とわたしたちの暮らし」

- ・スーパーマーケットの学習をした際、誰もが利用しやすい工夫について調べた。「高齢者に優しいスーパー」の記事を取り上げ、買い物カートの軽量化、高齢者専用レジを設けている工夫もあることを知った。

##### <総合的な学習の時間>

「大好きなまち 出石を知ろう」(環境体験学習)

- ・奥山川の生き物調査をした後、班ごとに「生き物たんけん新聞」を作った。

「昔の暮らしを知ろう」(環境体験学習)

古代学習館に行き、おこわや竹でつぼうの作り方を教えてもらった。体験したことや感じたことなどを個人で新聞にまとめた。

「目の不自由な人の立場を理解しよう」

- ・福祉学習で、3年生は「盲導犬について」学習した。盲導犬以外にも、人々を支え人の役に立っている犬のことを新聞記事で紹介した。

### 第4学年

#### 教科と関連した取組

1 国語科の「アップとルーズで伝える」を読み、それぞれの長所と短所をとらえたあとで、新聞記事に使われている写真から、「アップ」と「ルーズ」の使い分けの意図を考えた。

- ・多目的教室にある多数の新聞の写真を切り取ってワークシートに貼り、記事の内容をまとめた。

- ・「アップ」と「ルーズ」の使われ方を確かめ、どうしてそのように使われているのかを考え、発表した。

2 東京の銀座でロンドンオリンピックのメダリストがパレードを行った新聞記事を読み、送り手の意図に合った写真を選んだ。

- ・情報は受け手によって違うことや、送り手の意図で「アップ」と「ルーズ」が使い分けられていることをおさえた。

3 記者派遣事業で、主題が引き立つ新聞写真の撮影方法について話を聞いた。この授業の様子を代表の児童がデジタルカメラで撮影した。その写真を見てもらい、よりよい写真にするためのアドバイスをいただいた。そのあと、もう一度写真を撮り、最もよい写真が、翌日の新聞に掲載された。

4 これまでの学習を生かし、地域で仕事をしている人に取材をして「仕事新聞」を作った。

- ・尋ねることや、どんな写真を撮るかを取材メモに書き、グループごとに取材を行った。
- ・取材したことから書く内容を選び、写真と文章を対応させて「仕事新聞」を作った。
- ・新聞を読み合い、良いところを伝え合った。

## 第5学年

### 教科と関連した取組

#### <国語科>

- ・家族に自分が選んだ新聞記事を読んでもらい、記事の感想を聞いてまとめた。
- ・週末の宿題で調べ、5W1Hでまとめた新聞記事を、グループ内で紹介しあった。
- ・心がポカポカする新聞記事を選んで読み、その感想を400字以内でまとめた。
- ・一年間の振り返りと次年度の抱負を書いた「はがき新聞」を作成し、年賀状として投函。

#### <総合的な学習の時間>

- ・総合的な学習の時間に取り組んだ「米づくり」を新聞にしてまとめた。

#### <社会科>

- ・毎日小学生新聞を使って、衆議院選挙の結果を「選挙新聞」にしてまとめた。

#### <図工科>

- ・古新聞とセメントを使って、新聞紙リサイクルの「魔法の鉢」を作った。

## 第6学年

### 教科と関連した取組

#### <国語科>

- ・家族に自分が選んだ新聞記事を読んでもらい、記事の感想を聞いてまとめた。

#### <総合的な学習の時間>

- ・修学旅行を終えた後、1人画用紙1枚「修学旅行新聞」を作成した。
- ・校内での新聞コンクールのため、「小学校思い出新聞」を作成した。6年間の思い出話をしながら、楽しそうに取り組んでいた。

### その他の取組

- ・毎週金曜日の学習タイムにおいて、朝日新聞の『天声人語』、神戸新聞の『正平調』の

視写をしてきた。担任が視写するところをあらかじめ決めてプリントを配布している。子どもたちが興味を持てるような記事を選ぶよう気をつけてきた。

- ・冬休みの宿題として、お正月にちなんだ記事を3つ選び、いつもしているように要約。
- ・感想をプリントにまとめた。

### III おわりに

#### 《成果》

- ・新聞が身近なものになった。
- ・ふるさとを見直すきっかけになった。
- ・5W1Hを意識してまとめる児童が増えた。
- ・短時間で記事の要約ができるようになった。
- ・低学年に分かるように話したりまとめたりすることができるようになった。

#### 《課題》

- ・新聞を授業に生かそうとする教師の心構えが大切である。日頃から教師もスクラップして、ここぞという時にスクラップ記事が活用できるようにする。
- ・教育課程の中に新聞を位置づけ共有することが重要である。
- ・新聞には、漢字や内容など子どもにとって難しい面があるので、家庭との連携が不可欠と感じる。

新聞は「政治」「経済」「社会」「スポーツ」と社会全体のことが書かれている。「社会」も自分達の住んでいる地域のことから世界まで知ることができる。また、著名人から一般の人たちの色々な年代の人の考えに触れられる。新聞を読むことは社会が広がり、ものの考え方も広がる。

今後も新聞を活用して、情報を整理する力やコミュニケーション能力を伸ばし、さらに自分の考えを主体的に表現し、学び合う子どもを育成していきたい。